

「平成 29 年度 筑豊地区生涯スポーツ指導者等研修会（第 1 回）」事業報告

- 1 事業名 平成 29 年度 筑豊地区生涯スポーツ指導者等研修会（第 1 回）
- 2 期 日 平成 30 年 1 月 29 日（月）
- 3 参加者 22 名
- 4 日 程

時 程	内 容
13:30	受 付
13:50	開会行事
14:00	研修 1 〈講話〉 「健康寿命を考えた場づくり・人づくり」 ～誰もが参加できるスポーツ・レクリエーションを通して～ NPO 法人福岡県レクリエーション協会 専務理事 佐藤靖典 氏
15:20	更 衣
15:30	研修 2 〈説明・実技〉 「障がい者スポーツ・レクリエーション活動の推進について」 ～レクボッチャをみんなでやってみよう～ 福岡県障がい者スポーツ協会 主任指導員 山野 明 氏
16:30	閉会行事
16:40	

5 活動の実際

研修 1

(1) 内容

研修 1 では、NPO 法人福岡県レクリエーション協会専務理事である佐藤靖典氏より、高齢社会の現状について資料を使って説明がありました。「平均寿命」＝「健康寿命」であることや「健康」とは、「からだ」「心」「社会的」に健やかな状態のことであり、健康になる為には、コミュニケーションが重要であると説明がありました。そして、コミュニケーションづくりに役立つ簡単なレクリエーションを紹介してもらい、参加者も一緒に行いました。

(2) 活動写真



講話を行う講師



積極的に研修に取り組む参加者の様子

(3) 参加者の声

- ジャンケンひとつで人の心を豊かにできること。拍手の仕方についても非常に勉強になりました。
- グループ等でのコミュニケーションの取り方が参考になりました。
- 先生のお話だけでなく、大きな声を出して行うマッサージやゲームなど実技が多く取り入れられていたので、楽しかったです。

研修 2

(1) 内容

研修 2 では、福岡県障がい者スポーツ協会主任指導員の山野明氏より、「障がい者スポーツ・レクリエーション活動の推進について」の説明とレクボッチャの実技を行いました。最初に、管内のスポーツ環境の構築状況や地域における障がい者スポーツ普及促進事業等について、資料を用いながら説明がありました。その後、6 チームに分かれ、レクボッチャの実技を行いました。

(2) 活動写真



レクボッチャについて説明する講師



レクボッチャを行っている参加者の様子

(3) 参加者の声

- ボッチャは初めてする種目だったので、参考になりました。誰でも簡単にできるので、工夫しながらやりたいと思います。
- 障がい者もスポーツを楽しめて、全年齢でも楽しめるところが良かったです。
- 初めてのスポーツでしたが、皆さんで楽しくできました。

6 全体をとおして

研修 1 では、「健康寿命」を考える中で、コミュニケーションが大きな役割を担っているという話から、様々なコミュニケーションの取り方が紹介され、参加者にとって非常に参考となるものでした。研修 2 では、レクボッチャの実技を行い、参加者同士で声を掛け合いながら、大いに盛り上がりました。今回の研修を受けた参加者の感想の中には、「社会福祉関係の課や協会と連携して、障がい者スポーツについて振興していきたいです。」といったものもあり、管内におけるスポーツ振興において、大変意義深い研修会になりました。また、管内のスポーツに携わる方々の交流の場ともなり、充実した研修会になりました。